

# アジアから考える世界史

担当教員

羽田正

金曜5限  
16:20-17:50

会場

5号館511

皆さんが高校で教わった世界史や日本史が、日本特有のものだということを知っていますか。日本人が当たり前だと思っている過去の「事実」が、外国ではしばしば当たり前ではありません。なぜこのようなことが起こるのでしょうか。このテーマ講義ではまず、日本における歴史の研究や教育がいつ頃からどのような背景のもとで成立したのか、そこにどのような問題があるのかを説明します。

その後、とりわけアジアにおける多様な歴史観や歴史叙述を、外国人ゲストも交えた専門家が具体的に解説します。歴史学とは何かを考え、アジアの人々が持つ様々な歴史観を知れば、皆さんは現代日本における世界史叙述が唯一絶対ではないことが分かるはずです。これをふまえて最後に、これからの世界史はどう書かれるべきかについて、みんなで討論してみるつもりです。ぜひ積極的に講義に参加して下さい。

- 4.14 ガイダンス 〈高校教育における日本史と世界史〉 羽田 正——東洋文化研究所
- 4.21 〈19世紀ヨーロッパにおける近代歴史学の成立とその世界への普及〉 羽田 正
- 4.28 〈近代日本と「東洋史学」〉 吉澤誠一郎——人文社会系研究科
- 5.12 〈近代中国における「新史学」〉 吉澤誠一郎
- 5.19 〈東アジアと日本の「近世化」と「近代化」〉 三谷博——総合文化研究科
- 5.26 五月祭のため休講
- 6.2 〈History writing in pre-colonial regions and empires of South Asia〉  
Jayeeta Sharma —カーネギー・メロン大学、アメリカ合衆国、協力 井坂理穂——総合文化研究科
- 6.9 〈History writing by South Asian intellectuals in an age of colonial modernity〉 Jayeeta Sharma
- 6.16 〈イランにおける歴史認識と世界史〉 Mansur Sefatgol——テヘラン大学、イラン
- 6.23 〈17世紀東南アジアにみる歴史認識〉 白石さや——教育学研究科
- 6.30 〈Historian and History Writing: case of modern Southeast Asia〉  
Rudolf Mrazek ——シンガン大学、アメリカ合衆国
- 7.7 〈Modern representations of Indonesia's regional cultures in commercial media〉  
Philip Yampolsky ——ジャカルタ、Ford Foundation、インドネシア
- 7.11 〈東南アジアにおける植民地支配と歴史認識〉 白石さや
- 7.14 まとめと討論 〈世界史はどう書かれるべきか〉 羽田 正

問合せ先：羽田 正—東京大学東洋文化研究所 haneda@ioc.u-tokyo.ac.jp

東アジア・リベラルアーツ・イニシアティブ (EALAI) <http://www.ealai.c.u-tokyo.ac.jp/>

日本・アジアに関する教育研究ネットワーク (ASNET) <http://www.asnet.dir.u-tokyo.ac.jp/>

